



# 緑小だより

令和5年1月31日  
墨田区立緑小学校  
校長

<http://www.sumida.ed.jp/midorisho/>

## 展覧会・学校公開から学校評価へ

副校長

「うわあ、すごーい。」「夢のなかみたい。」1年生が、興奮気味に展覧会場に入ってきました。3年生のクッキーハウスを「おいしそう。」と食い入るように見つめ、5年生のだんだんコリントは大盛況でした。同日に、緑幼稚園や近隣保育園の園児の皆さんも鑑賞に来てくれました。帰り際に「どうでしたか。」と聞いてみると、一斉に「お豆のお家にスイッチがあった。」「ねこちゃんがかわいかった。」「おもしろいお面がたくさんあったよ。」と2、4年生の作品などを挙げてくれました。



翌日の保護者鑑賞日には、地域の方々も多くご参会頂きました。町会の方は1年生の作品を見て「色が鮮やかで、さすがに発想が豊かだね。」と感心されていました。さらに、みどり学級のコーナーでは「いまは、こんな事が出来るのですか。」と感嘆の表情を浮かべて、作品や映像に見入っていました。

そして皆さん、最後は同じように「やっぱり6年生になると、作品に迫力や緻密さがあり最高学年の成長を感じます。」とおっしゃっていました。

今回の展覧会は延期などもありましたが、保護者の皆様からは、「感動しました。」「とても見ごたえがありました。」など、温かいお言葉をたくさん頂き、教職員一同ほっと胸をなでおろしております。また学校公開のご参観もありがとうございました。そして、公開と合わせた学校評価のアンケートへのご協力もありがとうございます。コロナ禍の現状をご理解頂いた上でのご意見が多く感謝しております。

頂いたご意見は、全てに目を通して教職員で共有すると共に、学校運営連絡協議会を開催して、地域の皆様とも共有していきます。これからも疑問や問題点などありましたら、学校評価のアンケートに関わらず、いつでも学校に投げかけてください。解決に向けて学校全体で取り組んで参ります。今後ともよろしくお願いいたします。

## 展覧会を振り返って

展覧会委員会

先日の展覧会へのご来場ありがとうございました。今回のテーマは、「思いがいっぱい心つながる、みどりのわ」でした。子供たちは、授業の中で自分の世界をふくらませて楽しく表現活動をしてきました。展覧会までの準備期間では、学年で協力していろいろな表し方を試したり、様々な表現の世界に触れたりし、表現の喜びや楽しさを感じることができたと思います。

また、鑑賞後の振り返りでは、「アイデアが全然思い浮かばなくて、頑張って考えた作品がついに完成したことがうれしかった。」「最初は小さかった作品がみんな協力して大きくなり、素晴らしい作品が完成した。」など、自分の頑張りに加え、友達や他学年を認め合う姿勢が感じ取れました。展覧会では作品を通して、児童・保護者・地域が繋がることができたのではないかと思います。保護者の皆さまにおかれましては、日ごろの図工・家庭科の授業にご協力いただき、ありがとうございます。持ち帰った後の作品も、ご家庭で飾って鑑賞していただけると幸いです。

